

I M S - T E

S Y S T E M

2019年7月

「IMS-TE」システム概要とシステム施工上の注意点

1. IMSシステム概要 P.2～
2. IMSシステム概要図
3. 機器概要 P.3～
 - ① 集合玄関機
 - ② IMSキャビネット
 - ③ サーバーPC
 - ④ インテグラボード
 - ⑤ 居室ドアホン
 - ⑥ 防犯カメラ
 - ⑦ 接続スイッチ（HUB）
 - ⑧ 消防用押しボタン
 - ⑨ エントランスモニター
 - ⑩ ナースコール（オプション）
 - ⑪ IMS宅配ロッカー
4. 施工上の注意点 P.8～
 - ① 集合玄関機の収まり
 - ② 消防用押しボタンの施工について
 - ③ IMS主要機器の設置例と配管及び機器寸法
 - ④ 接続スイッチ用各階収納ボックス
 - ⑤ 居室内配管の収まり
 - ⑥ 電気錠（開きドア）仕様の施工上の注意点
 - ⑦ IMS宅配ロッカーの収まり
- その他 資料 P.15～
 - ① 「IMSシステム、その他の商品機器」の工事範囲
 - ② 各階収納ボックス詳細図（接続スイッチ&コンセント位置）
 - ③ IMS接続スイッチ用電源について
 - ④ 裏口カードリーダー（非接触式）
 - ⑤ 集合玄関機上部の照明について
 - ⑥ エレベータ用カードリーダー（非接触式）
 - ⑦ インターネット用光回線引き込み工事の注意点（NTT工事）
 - ⑧ IMS-TE システム構成図
 - ⑨ IMS-TE SYSTEM 系統図

「IMS-TE」システム

1. システム概要

本システムは、居住者の生活に欠かせない「安心・安全・快適な環境づくり」をコンセプトに学生及び高齢者専用マンション向けに開発されたインテリジェントマンションシステムです。

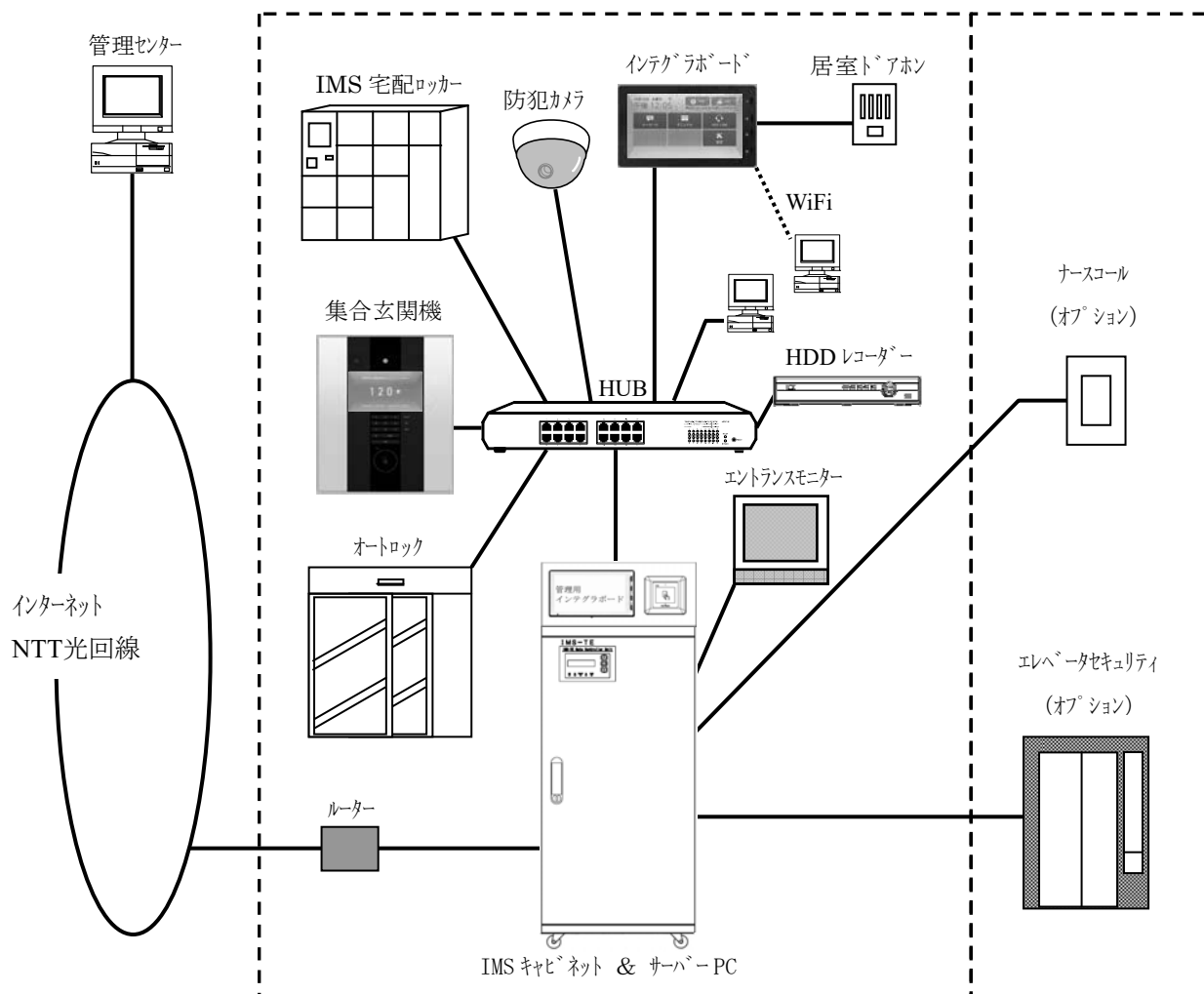
◇「オートロックインターホン機能」 居住者は、集合玄関機の非接触型ICカード認証で入館します。インテグラボードで来訪者画像とエントランス画像を確認・通話し、安心してオートロックを解錠することができます。(非接触型ICカード対応：Mifare・FeliCa)

◇「コミュニケーション機能」 インテグラボードにはメール機能や管理会社直通のホットライン機能があり、管理会社と居住者(留守がちな居住者)との連絡や情報交換が可能です。

◇「セキュリティ機能」 センサー付き防犯カメラの画像をサーバーとハードディスクレコーダーに保存します。オプション機能としてICカード・インテグラボード・エレベーターが連動した「エレベータセキュリティシステム」があります。

これらの機能で居住者の生活を支援します。

2. システム概要図

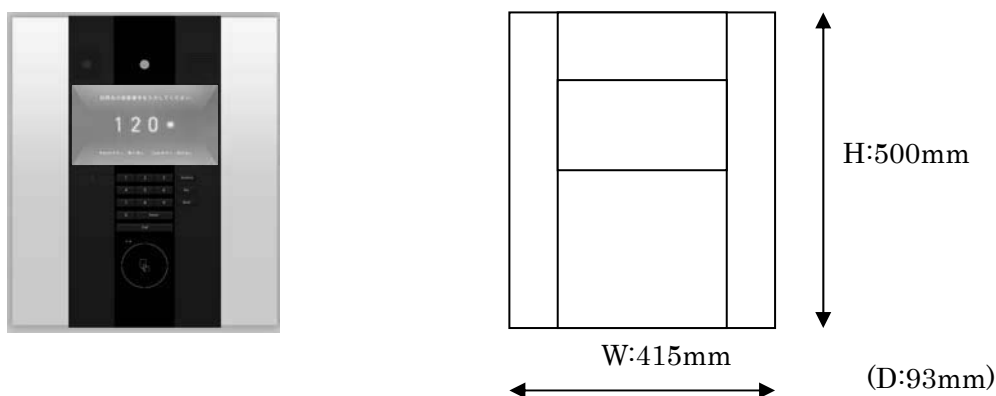


3. 機器概要

①集合玄関機

この機器は、集合玄関扉を開閉するために取り付けます。マンション入口玄関に設置し、居住者が帰宅した際はカード認証によりオートロックを解錠します。宅配ロッカーの荷物情報や管理会社からのお知らせを確認することが可能です。来訪者は部屋番号を押して居室インテグラボードを呼び出し、居住者と通話した後、居室インテグラボードの操作によるオートロック解錠で入館します。

集合玄関機



仕 様

- 音声方式 V o I P
- 通話方法 ハンズフリー対応（全二重通話）
- カメラ USB カメラ（1/3 インチ、33 万画素 VGA、CMOS）、ワイドダイナミックレンジ
- ボタン テンキー、Hotline キー、Rec キー、Next キー、Reset キー、Call キー
- カードリーダー 非接触カードデータ読取り「解錠」及び「エラー」を液晶で表示
- 液晶表示器 10.1 インチ T F T液晶ディスプレイ
文字データ、画像データの表示
- 音源 インテグラボード呼出音、管理センター呼出音、カード認証音 他
- 電源 DC12V にて動作 消費電流：約 2.0A(IMS キャビネットより供給します)
※設置場所によって AC100V 電源が必要になる場合があります。
- 寸法 415(W)×500(H)×93 (D：露出部 24 + 埋込部 69)

※ 集合玄関機用埋め込みボックスは支給品とし、電気工事にて所定の場所に配管と一緒に設置するものとします。(P.8 参照)

機 能

- 居室呼出 各居室を呼出します。居室では来訪者の画像を確認できます。
- ホットライン呼出 管理人が不在の場合、来訪者は管理会社をホットラインで呼出し通話することができます。
- 遠隔解錠 ホットライン通話時に管理会社からの電話機操作によるコマンド入力によりオートロックの遠隔解錠ができます。
- カード照合 居住者の非接触カードデータを認証します。

②IMSキャビネット

集合玄関機での非接触カードの認証やオートロックの施解錠等をコントロールします。各種機器とのインターフェースも併せ持っています。

③サーバーPC

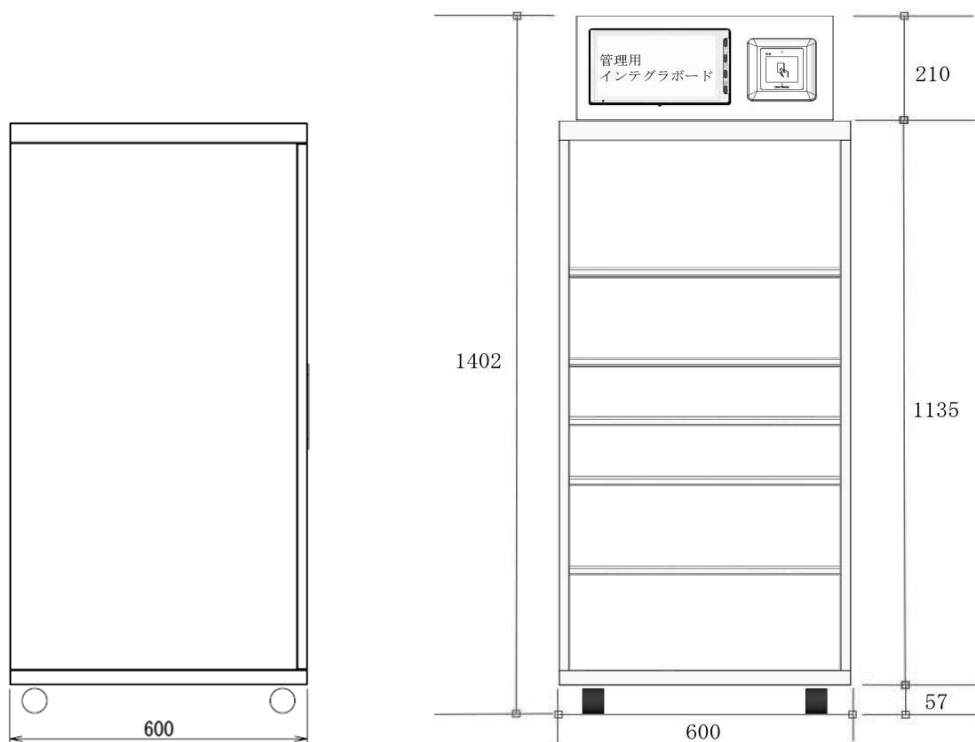
IMSシステム全体をコントロールするサーバーであり、物件データ保持、各種メール送受信、来訪者の画像データ/音声データ記録、防犯カメラの画像データ記録、カード管理等を行います。

IMSキャビネット & サーバーPC

(W: 600mm×H: 1192mm×D: 600mm)

管理用インテグラボード

(W: 600mm×H: 210mm)



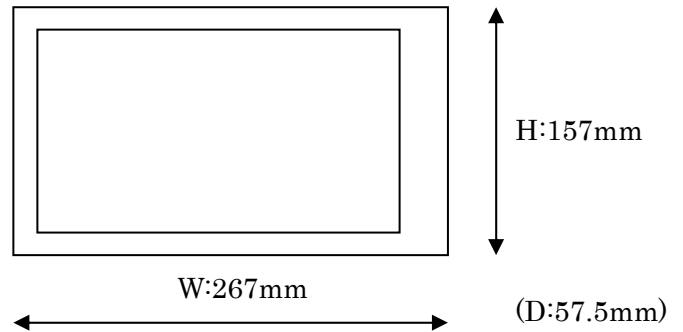
IMSキャビネット&サーバーPCを設置する環境は、

室温最高 35度とし、必ず強制換気が必要です！

※ 吸気は扉にガラリなどを設け自然換気を行い、排気はサーモスイッチまたは24時間換気を強制的に行うようにして下さい。

④インテグラボード

各居室の壁面に設置し、マンション情報盤として運用します。



仕 様

- 音声方式 V o I P
- 通話方法 ハンズフリー対応 (全二重通話)
- LED Power
- ボタン 緊急、通話、解除、ホーム
- 液晶表示器 10.1 インチ TFT 液晶ディスプレイ
文字データ、画像データを表示
- 音源 集合玄関機呼出音、居室ドアホン呼出音、セキュリティ音 他
- 電源 AC100V にて動作 (埋込ボックスに AC100V 電源必要) 消費電流 : 0.5A
- 寸法 267(W)×157(H)×57.5 (D : 露出部 25.5 + 埋込部 32)

※ 埋め込みボックスは指定品とし、電気工事にて所定の場所に配管と一緒に設置するものとします。(P.12 参照)

機 能

- 集合玄関機通話 来訪者の画像を確認し、通話後、オートロック解錠ができます。
- ホットライン呼出 管理会社をホットラインで呼出し通話することができます。
- 断りメッセージ処理 断りたい来訪者には集合玄関機に断りメッセージを送出できます。
- メッセージ確認 管理会社からのメッセージ等を確認できます。
- 留守時来訪者画像確認 留守時の来訪者の画像を音声と共に確認できます。
- 共用部カメラ画像確認 共用部カメラの画像を1分間 確認できます。(オプション)

⑤居室ドアホン ※チャイム部はインテグラボードに内蔵されています。

呼出音のあと、応答すると通話することができます。

※ 電気工事にて裏ボックス・配管・配線が必要です。

※ ドアホン取付・結線はIMS工事にて行います。

居室玄関扉の側面に取り付けます。

来訪者が居室玄関チャイムを押すと、インテグラボードに来訪を知らせて音声通話することができます。

⑥防犯カメラ

マンション内のセキュリティ用に設置され、監視防犯を行います。

モーション検出によりサーバーPCとHDDレコーダーに保存され、管理PCからの要求により確認することができます。インテグラボードからリアルタイムの映像を確認することができます。

⑦接続スイッチ（HUB）

サーバーPC・集合玄関機・インテグラボードなどのシステム機器を接続し、マンションシステムに流れるデータを交通整理します。

また、各居室からインターネット接続も可能にする、高度なセキュリティ機能を有したIMSシステム用のマルチプルVLANです。

⑧消防用押しボタン

集合玄関のエントランス（風除室）天井部に取り付けます。消防隊が火災等の緊急時に、集合玄関のオートロックを強制解錠して、進入するための押しボタンです。

※ 自動ドア仕様と電気錠（開きドア）仕様では施工分担が異なるため、注意してください。

又、オプションでエレベータセキュリティがある場合も同様とします。

⑨エントランスモニター

エントランスに設置し防犯カメラの映像をカメラ毎に切り替えて表示します。

セキュリティマンションであることを効果的にアピールします。（※仕様により無い場合あり）

⑩ナースコール（オプション）

弊社指定ナースコールシステムからの情報を管理会社に通知できます。

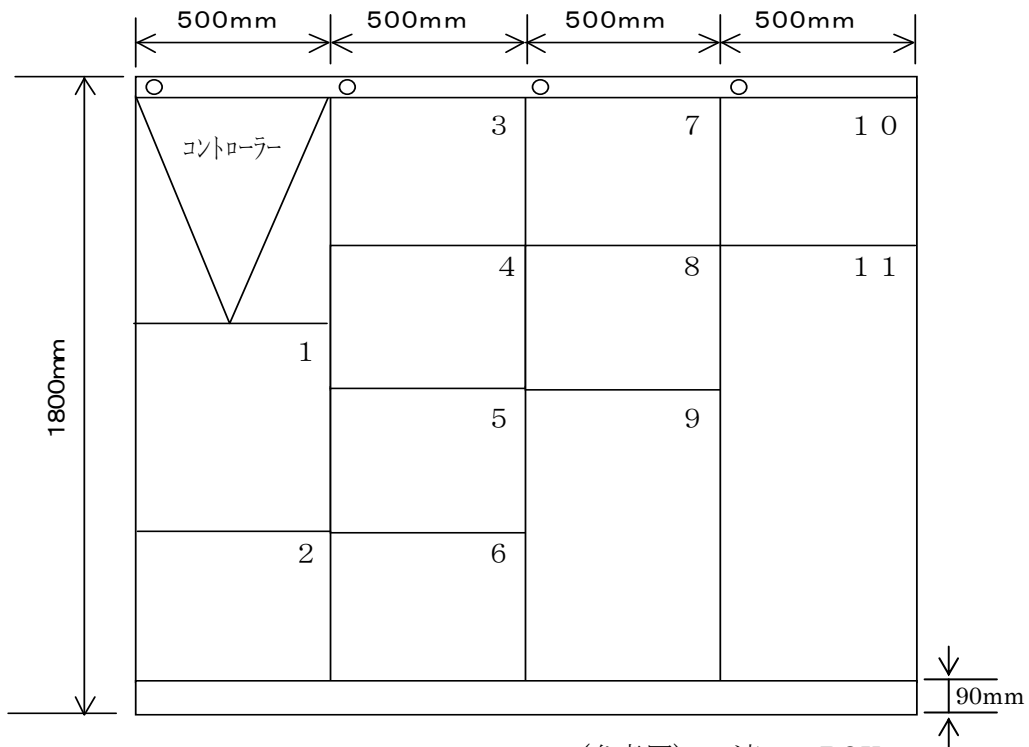
⑪ IMS 宅配ロッカー

居住者が不在でも宅配物を「宅配ロッカー」が預かります。

集合玄関機カード認証の際に荷物の預け入れがあれば、玄関機のモニターに「荷物があります」と表示します。

着荷表示は宅配ロッカーの表示部と居室のインテグラボードにも表示されます。

※ 建物の規模、仕様によって設置する宅配ロッカーの連数、ボックス数は異なります。



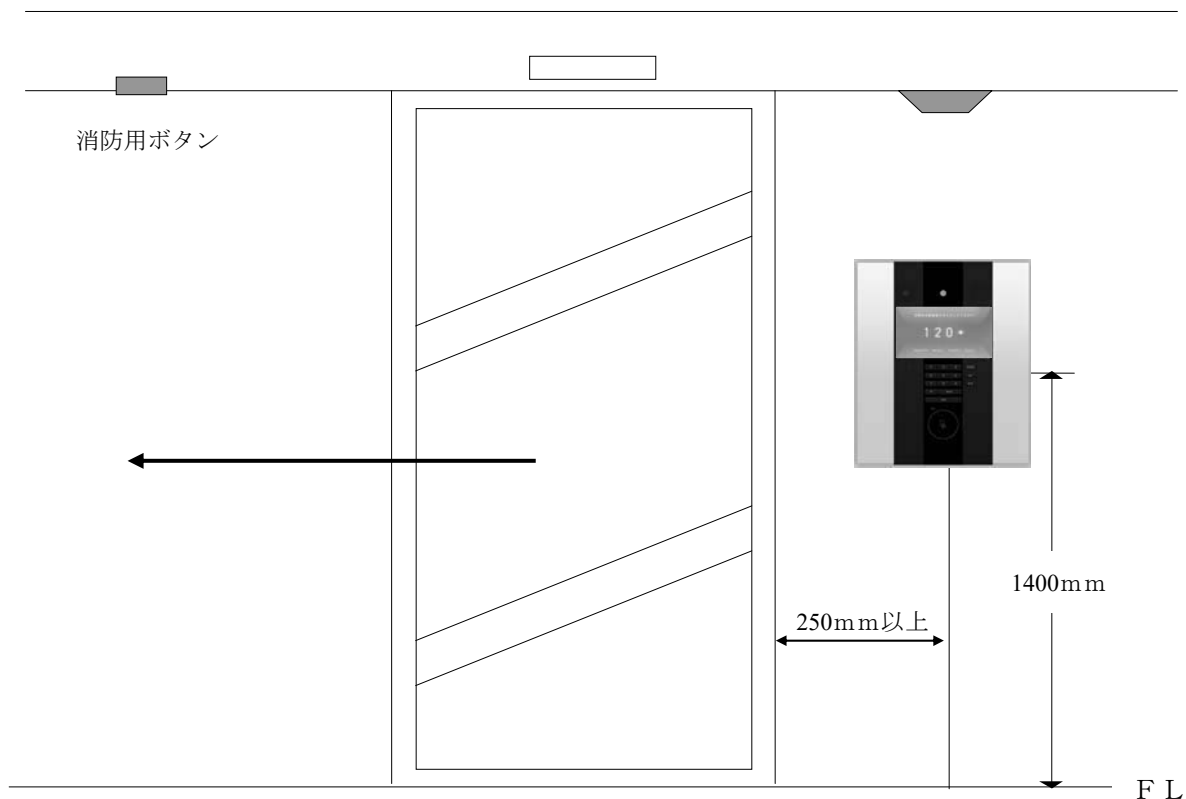
(参考図) 4連 11BOX

4. 施工上の注意点

①集合玄関機の収まり

玄関廻りの収まり図（集合玄関、消防押しボタンの位置関係）

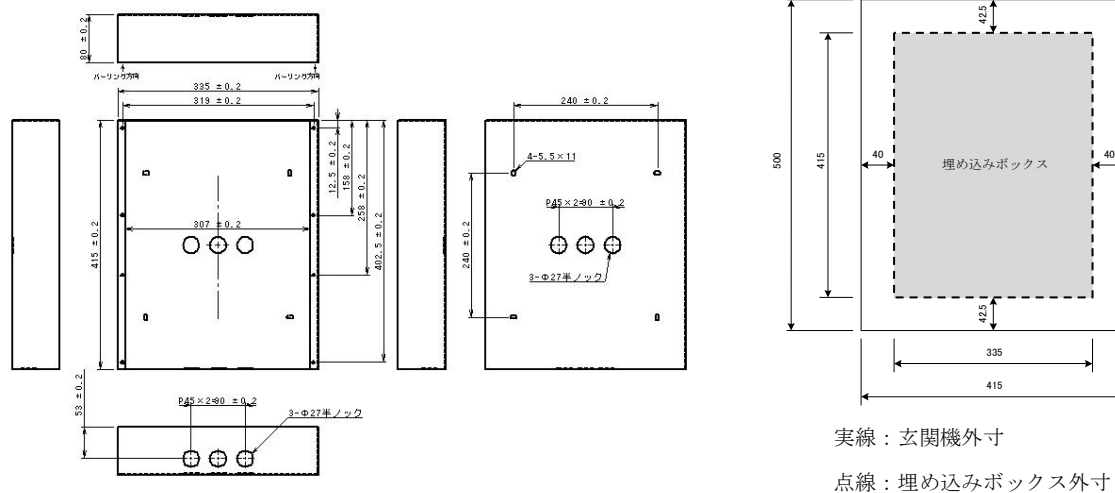
※ 開きドア仕様、自動ドア仕様でも取り付け寸法等は同じ



機器寸法

商品名	W	H	D
集合玄関機	415	500	93 (24+69)
集合玄関機用埋め込みボックス	335	415	80
消防用押しボタンボックス	1個用ボックス 又は 4個用ボックス		

裏ボックス承認図

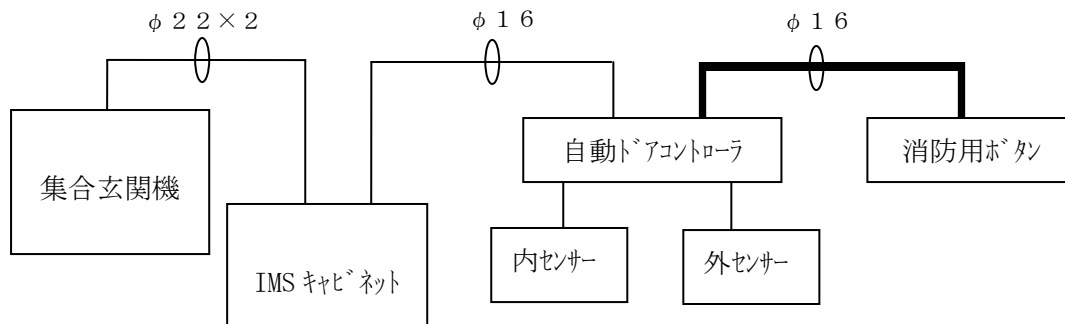


②消防用押しボタンの施工について

注意してください！ 下記の仕様により施工方法や配管ルート、工事範囲が変わります。

■集合玄関扉が自動ドア仕様の場合

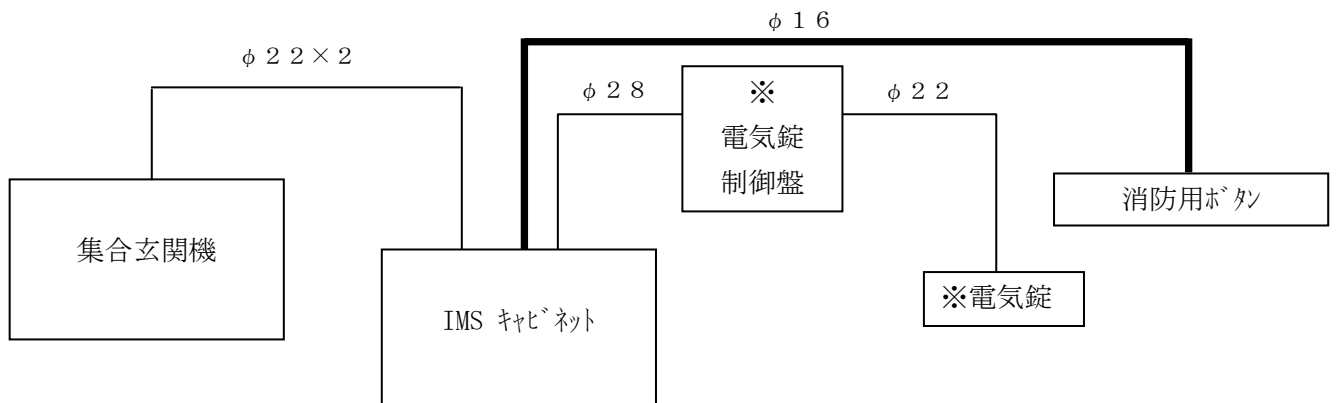
消防検査を簡便にするため、「消防用押しボタン」と「自動ドア」でテストが可能ないように施工します。(消防用押しボタン → 自動ドアコントローラー)



- ※ 自動ドアには内センサーと外センサーが必要です！
- ※ 自動ドアの工事はセンサーも含めて全て本工事で行って下さい。

■集合玄関扉が電気錠（開きドア）仕様の場合

下記のように配管をしてください。(消防用押しボタン → IMS キャビネット(電気錠制御盤))

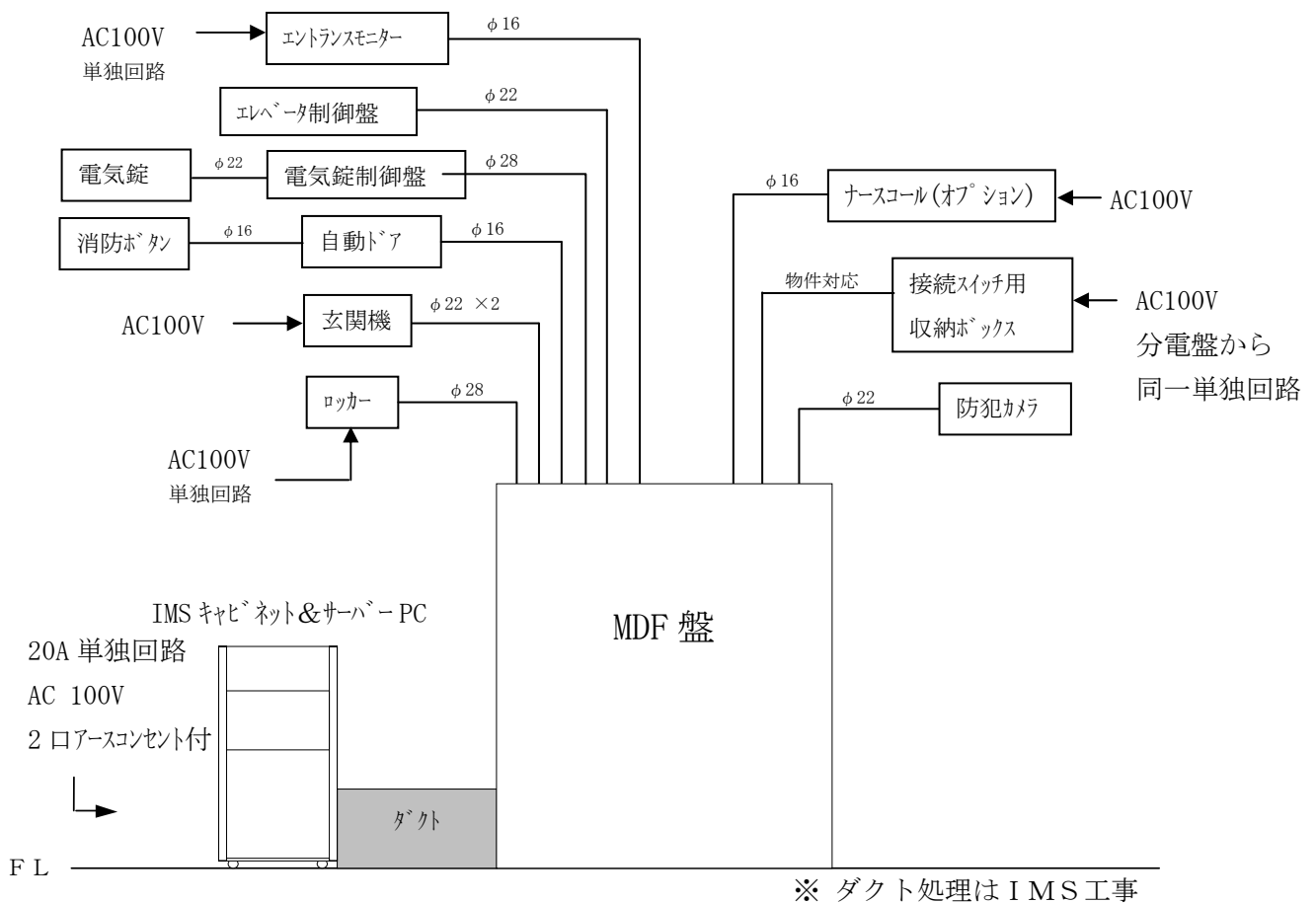


- ※ 電気錠、電気錠制御盤はIMS 工事には含まれません。

③ I M S 主要機器の設置例と配管及び機器寸法

I M S 主要機器は、管理機械室または管理人室に、M D F（電話引込み盤）と一緒に設置する方法が施工上、メンテナンス上非常に好ましい状態です。

例) オートロックが自動ドア仕様の場合



■ I M S システム機器の寸法

(単位mm)

	W	H	D
I M S キャビネット & サーバー P C	600	1402	600

2019年7月現在

■ システム機器設置スペース (放熱・保守含む)

(単位mm)

	W	H	D
I M S キャビネット & サーバー P C	900	1500	900

④接続スイッチ用各階収納ボックス

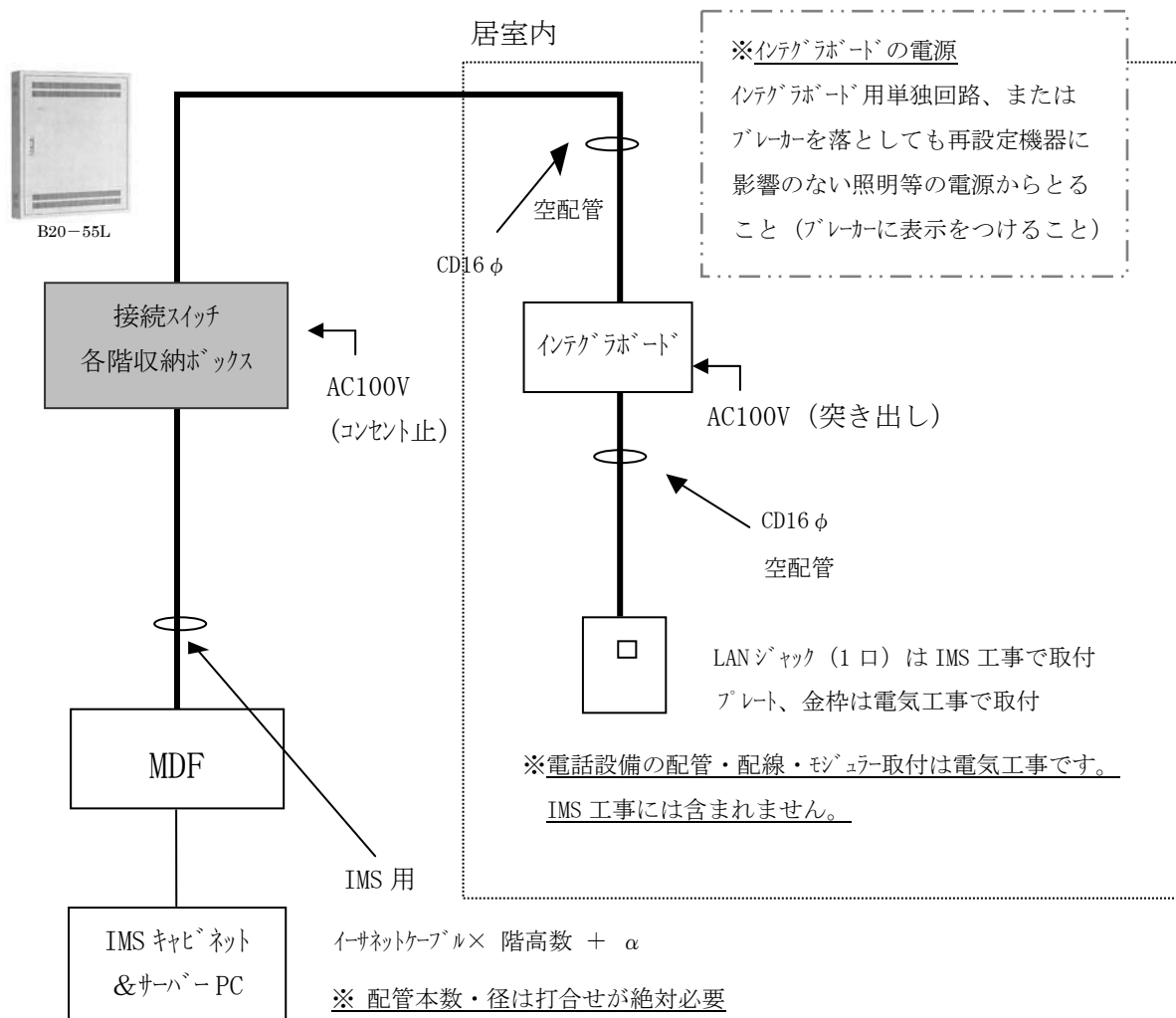
接続スイッチにはイーサネットLAN用のセキュリティ対応、マルチプルVLANを使用します。そのため、収納ボックスは「放熱機器用収納ボックス・木板ベース付」のものを用意してください。放熱効果を高めるために両側面、扉面の3面に換気孔を設けています。

■ マンション内イーサネットLAN配線の注意点

- (1) LAN配線を別系統で構築してください。
- (2) 接続スイッチは、16ポートもしくは24ポートで運用します。
- (3) 接続スイッチ収納ボックスは「放熱機器用収納ボックス・木板ベース付」を利用し、基本は、各階（1フロア1台）に設置します。現場によって異なる場合があるため、打合せが必要です。

寸法「500mm（縦）× 500mm（横）× 200mm（深さ）」
 （例）メーカー：日東工業 品番：B20-55L

- ※ボックスを他設備と共用する場合は、接続スイッチ取付スペースが必要です。※P.17 参照
- (4) イーサネットLAN配線系統及び配管径についてはIMS-TE SYSTEM 系統図を参照ください。
 ※イーサネットケーブルは各居室から接続スイッチまで2本ずつ敷設します。
 - (5) 収納ボックスにはAC 100Vが必要です。（2 ロアース付コンセント止） ※P.17 参照

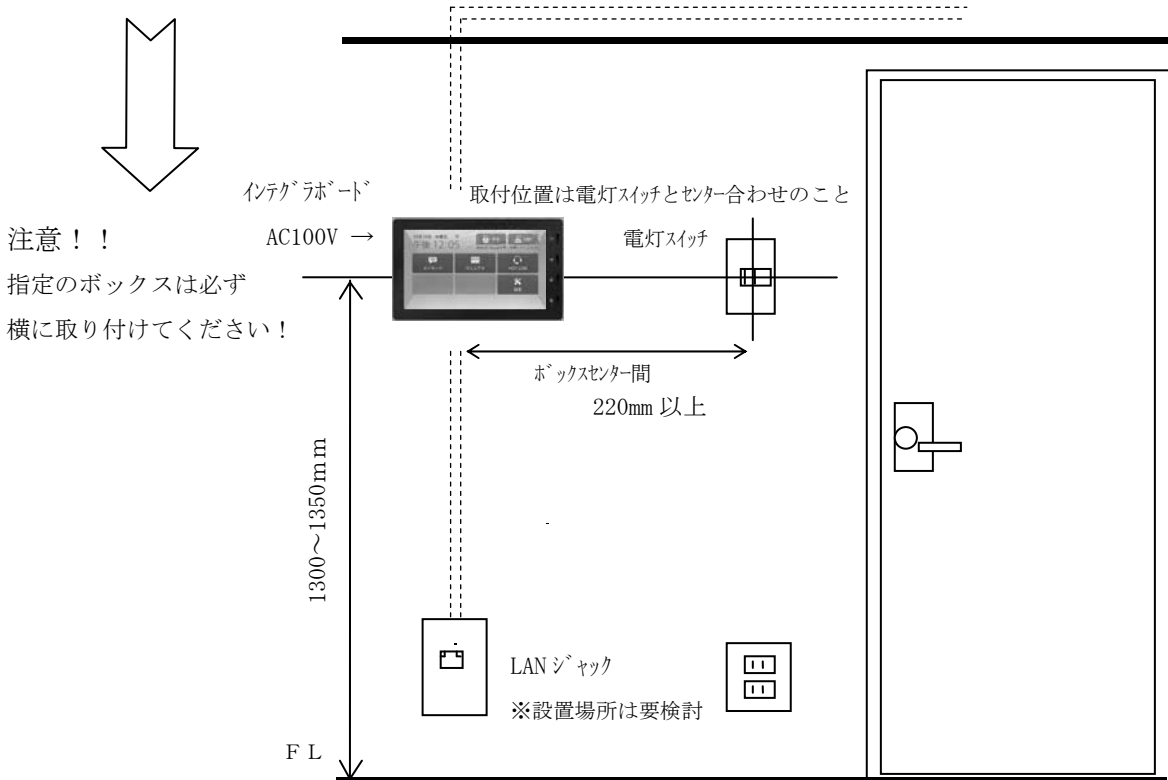


⑤居室内配管の収まり

- インテグラボードの取り付け位置
- LANジャックプレートの取り付け位置
- 裏ボックスは 指定品 (パナソニック DS4913 カバーなし)

施工上の注意事項！

各階 IDF からの IMS 用配管 (※ 電話用配管は別途)



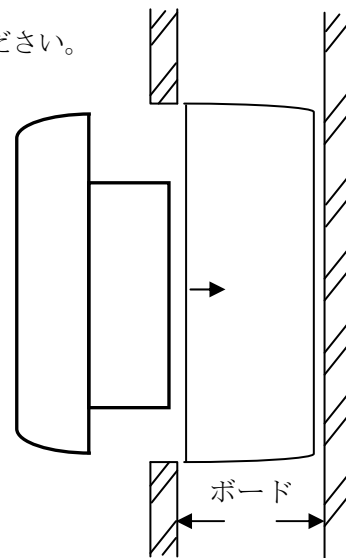
※インテグラボードの裏ボックスは指定品を取り付けてください！間違うとやり直し工事です！

重要！

開口のお願い 指定の裏ボックスは横に取り付けてください！
縦方向の開口はボックスの外寸法で開口してください。



※裏ボックスがボード面より出ないようにしてください。



⑥電気錠（開きドア）仕様の施工上の注意点

開き扉の場合2～3年するとドアの利用頻度や経年変化で電気錠システムとしての故障が多くなります。

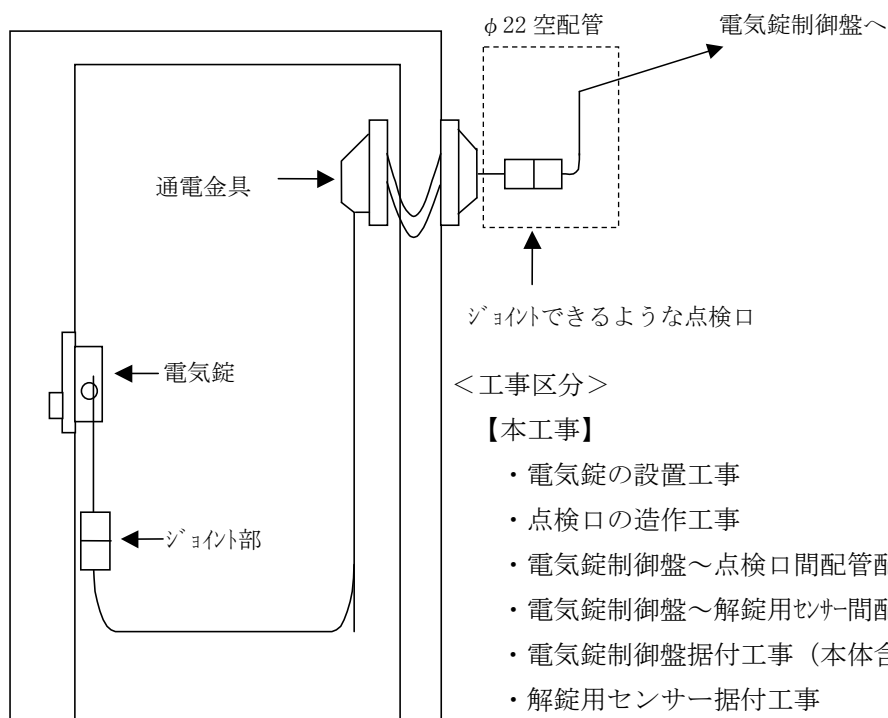
電気錠仕様のオートロック物件では、故障発生時に迅速に対応できるように管理体制上、下記の機種を推奨しています。



TEK-9CC (MIWA)



AL3M (MIWA) または
ALRA (MIWA) ※通電時施錠型



<工事区分>

【本工事】

- ・電気錠の設置工事
- ・点検口の造作工事
- ・電気錠制御盤～点検口間配管配線工事
- ・電気錠制御盤～解錠用センサー間配管配線工事
- ・電気錠制御盤据付工事（本体含む）
- ・解錠用センサー据付工事
- ・電気錠制御盤～IMSキャビネット配管工事

【IMS 工事】

- ・IMSキャビネット～電気錠制御盤配線工事

注意：電気錠制御盤はIMS工事には含まれていません。

解錠用センサーについて

オートロックドアの内側天井に取り付け、センサーの作動で自動的に解錠します。

（現場によって異なる場合がある為、打合わせが必要です。）

⑦ IMS 宅配ロッカーの収まり

■ 垂壁の施工

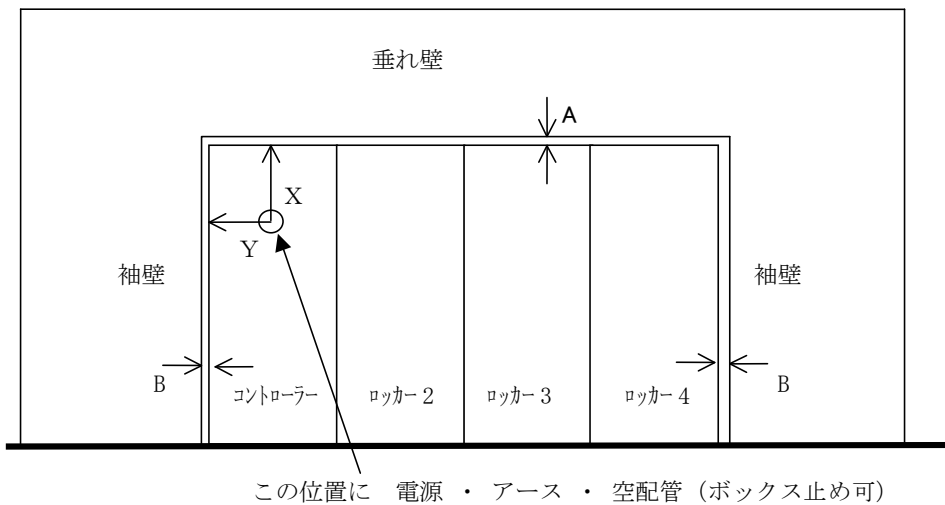
■ 袖壁の施工

■ クリアランスの確認（垂壁：ロッカー上部 / 袖壁：ロッカー側面）

下記クリアランスが確保されていれば、ロッカーの後入れ工事が可能です！

■ クリアランスの処理 シール仕上げ（建築工事）

ロッカー寸法（一連あたり） W：500×H：1800×D：560



垂れ壁：A = 15 mm 配管位置：X = 250 mm (FL から 1550mm)

袖壁：B = 10 mm Y = 250 mmが必要

- 建物内仕様、エントランスに置きます。
- 屋外設置はできません。雨にぬれると酸性雨被害で壊れます。
- 水濡れ厳禁(建物竣工時の洗い作業用酸性洗剤の使用は、致命的な損傷を与えます)

※ 集合玄関機などIMSシステム機器は水洗いを避けてください。壊れます。

「IMSシステム、その他商品機器」の工事範囲

種別記号の意味

A：空配管・呼び線工事 / B：ボックス取り付け工事 / C：入線・電源工事 / D：設置、取付工事 / E：その他

※ MDFを各配管の中継ボックスとして利用し、その横にIMSキャビネット、サーバーを置く事を前提とします！

■ IMS基本工事 (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
A	・MDFから各階接続スイッチ用収納ボックス間		○		打合せにて決定
	・各階接続スイッチ用収納ボックスから各居室インテグラボード間		○		Φ16
	・インテグラボードからLAN用モジュージャック間		○		Φ16
	・各居室ドアホンから各居室インテグラボード間		○		Φ16
	・MDFから集合玄関機間		○		Φ22×2
	・マグネットリレーからMDF間		○		Φ16
	(以下 オートロックが自動ドア仕様の場合)				
	・MDFから自動ドアエンジン部間		○		Φ16
	・自動ドアエンジン部から消防用ボタン間		○		Φ16
	*注意：自動ドアには内と外にセンサーが必要です。(自動ドア工事)		○		
	(以下 オートロックが電気錠仕様の場合)				
	・MDFから電気錠制御盤間	○	○		Φ28
	・電気錠制御盤から電気錠間	○	○		Φ22
・MDFから消防用ボタン間		○		Φ16	
・MDFから解除用センサー間		○		Φ16	
B	・集合玄関機用ボックス(支給品)		○		支給品使用
	・インテグラボード用ボックス(松下電工DS 4913 カバーなし)		○		指定品使用 ※横に取付
	・電気錠制御盤の取り付け	○	○		
	・消防用ボタン用ボックス		○		1個用ボックス
	・居室ドアホン用ボックス		○		1個用ボックス
C	・種別Aに挙げた空配管への入線工事			○	ドアホン～インテグラボード間は除く
	・各居室ドアホンから各居室インテグラボード間入線工事		○		AE0.9-3C
	・IMSキャビネット&サーバーPCに単独AC100V電源、アース		○		20A単独電源AC100V2口アースコンセント
	・接続スイッチ用収納ボックスにAC100V電源		○		2口アース付コンセント
	・接続スイッチ用電源を同一単独回路にて施工		○		
	・分電盤にマグネットリレーの取付		○		
	・マグネットリレーからMDF間入線工事		○		VA線
	・インテグラボードにAC100V電源(突き出し)		○		
	・電気錠制御盤から電気錠間		○		
	・MDFから解除用センサー間		○		
・玄関機にAC100V電源(突き出し)		○		玄関機設置場所確認要	
D	・接続スイッチ用収納ボックス(スイッチングHUBの収容箱)の取付け		○		指定品使用
	・消防用ボタンの取付け			○	
	・集合玄関機上部に照明灯の設置(常灯もしくはセンサー付き)		○		
	・LANジャック取付可能な金枠とプレートの取付け		○		
	・IMSキャビネット&サーバーPCの設置			○	
	・集合玄関機の設置、取付け			○	
	・インテグラボードの設置、取付け			○	
	・接続用スイッチ(スイッチングHUB)の設置、取付け			○	
	・各居室ドアホンの取付け			○	
	・LANジャックの取付け			○	
	(以下電気錠仕様の場合)				
・電気錠の取付け	○			サッシ工事	
・消防用ボタンの取付け			○	必要な場合	
・解錠用センサーの取付け		○		必要な場合	
E	・NTTへの特殊引き込み工事申請		○		
	・館内電話配管・配線・整端工事		○		
	・IMS機器設置場所(管理人室)扉に管理用シリンダーの取り付け	○			支給品使用

■ 防犯カメラ (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
A	・MDFから防犯カメラ間		○		Φ22
B	・防犯カメラ用裏ボックス		○		丸型1個用ボックス(カバープレート有)
C	・MDFから防犯カメラ間			○	
	※ 場合によっては、照明用の電源が必要となります(AC 100V抜止コンセント)		○		照明電源は打合せにて決定
D	・防犯カメラ設置(屋外カメラの場合、場合によっては投光器の設置が必要)			○	

種別記号の意味

A : 空配管 ・ 呼び線工事 / B : ボックス取り付け工事 / C : 入線・電源工事 / D : 設置、取付工事 / E : その他

■ エントランスモニター (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
A	・MD Fからエントランスモニター間		○		Φ16
C	・MD Fからエントランスモニター間 ・エントランスモニターにAC100V電源		○	○	
D	・エントランスモニターの設置(取付金具含む) ※天吊りの場合、天井面の強化 ※壁面に埋め込む場合、設置場所の造作と保護用パネル処理	○ ○		○	モニターの重量を考慮 打ち合わせにて決定

■ IMS宅配ロッカー工事 (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
A	・MD Fからロッカー間		○		Φ28
C	・MD Fからロッカー間 ・ロッカーCR部付近に単独AC100V電源とアース		○	○	突き出し
D	・垂れ壁・袖壁の造作 ・ロッカーの設置 ・ロッカー設置後のコーキング処理	○ ○		○	

■ センサースイッチ工事 (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
B	・1個用ボックス		○		
C	・センサースイッチ用電源AC100V		○		3路不可
D	・センサースイッチ取付け(支給品) ・プレート取付け		○ ○		1個用ボックス、プレート

■ 裏口オートロック工事(電気錠仕様の場合) (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
A	・MD Fから電気錠制御盤間	○	○		Φ28
	・電気錠制御盤から電気錠間	○	○		Φ22
	・MD Fから裏口カードリーダー間		○		Φ16
	・MD Fから開錠用センサー間(必要な場合)		○		Φ16
	・MD Fから消防用ボタン間(必要な場合)		○		Φ16
B	・電気錠制御盤の取付け	○	○		
	・電気錠ジョイントボックス		○		1個用ボックス 指定品使用
	・裏口カードリーダー用ボックス		○		
	・開錠用センサー用ボックス(必要な場合)		○		
C	・種別Aに挙げた空配管への入線工事			○	
	・電気錠制御盤から電気錠間		○		
	・MD Fから開錠用センサー間(必要な場合)		○		
D	・電気錠の取り付け	○			サッシ工事
	・裏口カードリーダーの設置			○	
	・消防用ボタンの設置(必要な場合)			○	
	・開錠用センサーの設置(必要な場合)		○		

■ セキュリティキーシステム工事 (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
D	・各住居扉に本体の取付け			○	
E	・各住居扉にMIWA製LA錠(錠前、レバーハンドル、サムターン)の取付け ・最終動作テスト	○		○	サッシ工事

■ エレベータセキュリティ工事 (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
A	・MD Fからエレベータ制御盤間	○	○		Φ22
C	・エレベータ制御盤～昇降路～ELVかご内の配線 ・種別Aに挙げた空配管への入線工事		○ ○		エレベータ工事 [CPEV-S 0.9×5P]×2 かご内はエレベータ工事
D	・カードリーダーの設置			○	
E	・動作テスト			○	

注意：エレベータセキュリティ工事がある場合、別途仕様書を参考ください。(エレベータ会社別仕様書)

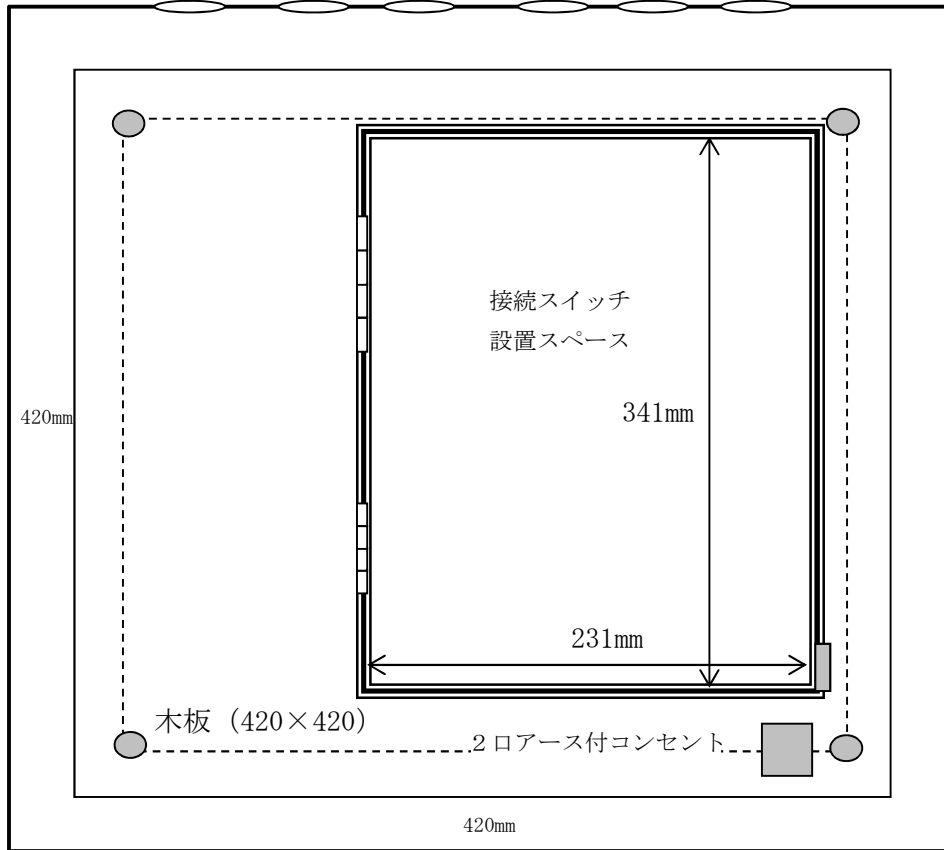
■ ナースコール接続工事 (あり・なし)

種別	工事内容	建築	電気	IMS	備考
A	・ナースコール主装置からIMSキャビネット間	○	○		Φ16
B	・各ナースコール機器のボックス		○		1個用ボックス or 3個用ボックス
C	・種別Aに挙げた空配管への入線工事			○	
D	・ナースコール機器の取付け			○	ただしこの工事が本工事の場合はこのかぎりではない
E	・動作テスト			○	ただしこの工事が本工事の場合はこのかぎりではない

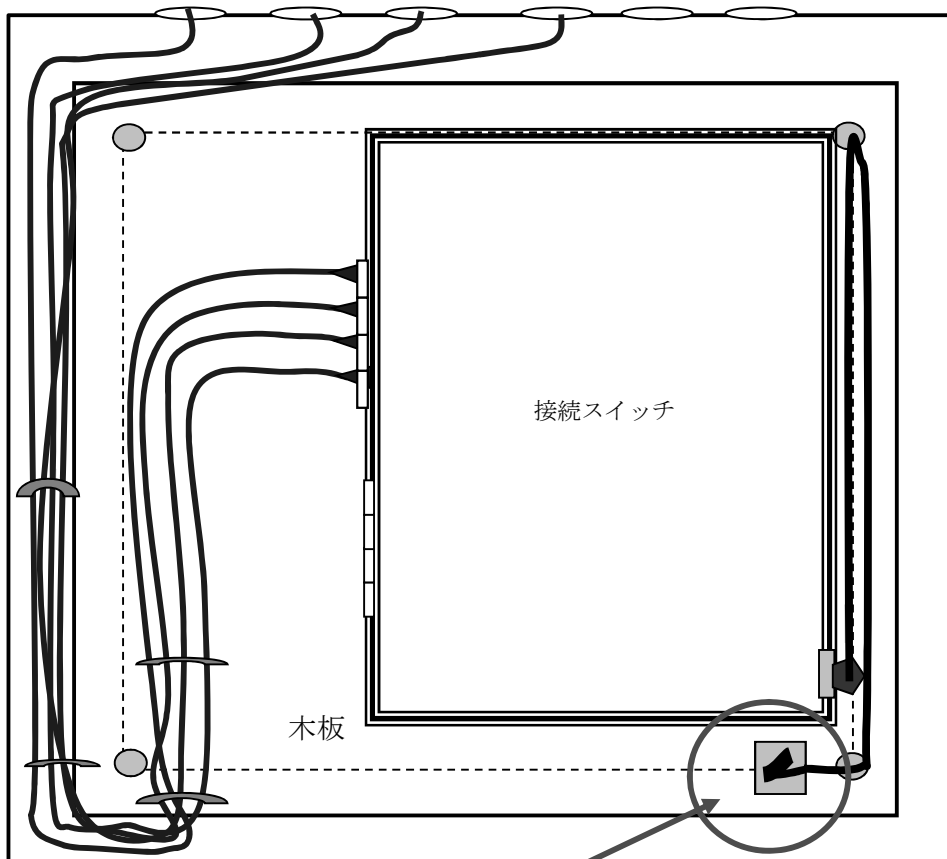
■ 浄水器工事 別紙工事仕様書参考

各階収納ボックス 詳細図 (接続スイッチ&コンセント位置)

収納ボックス 日東工業 B20-55L (500×500×200)



配線接続例



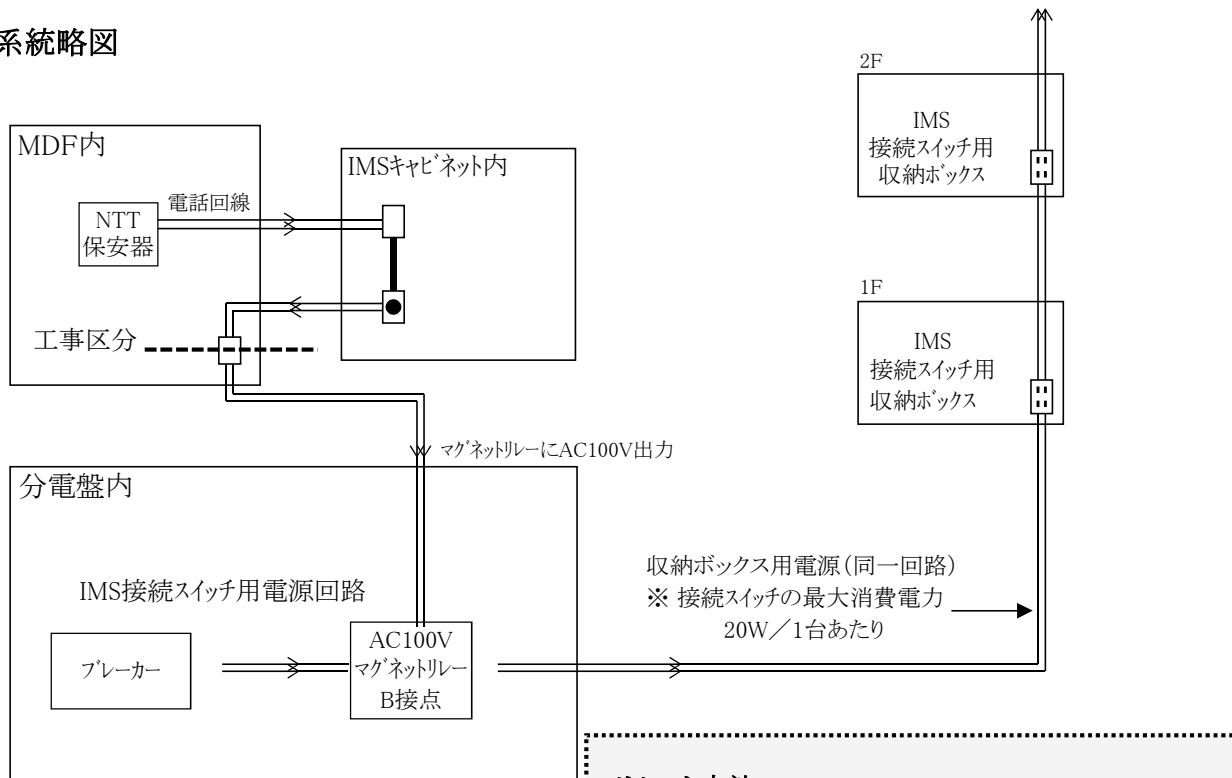
※ コンセント位置を確認してください！2口アース付コンセント

IMS接続スイッチ用電源について

IMS接続スイッチ用電源は必ず”同一単独回路”にて行ってください。

分電盤にマグネットリレーを取り付け、管理センターから電話回線にてリセットを行います。
IMS接続スイッチ用電源以外の電源が同一回路にある場合、その他の設備の電源も同時にリセットされてしまうため、必ず単独回路にしてください。

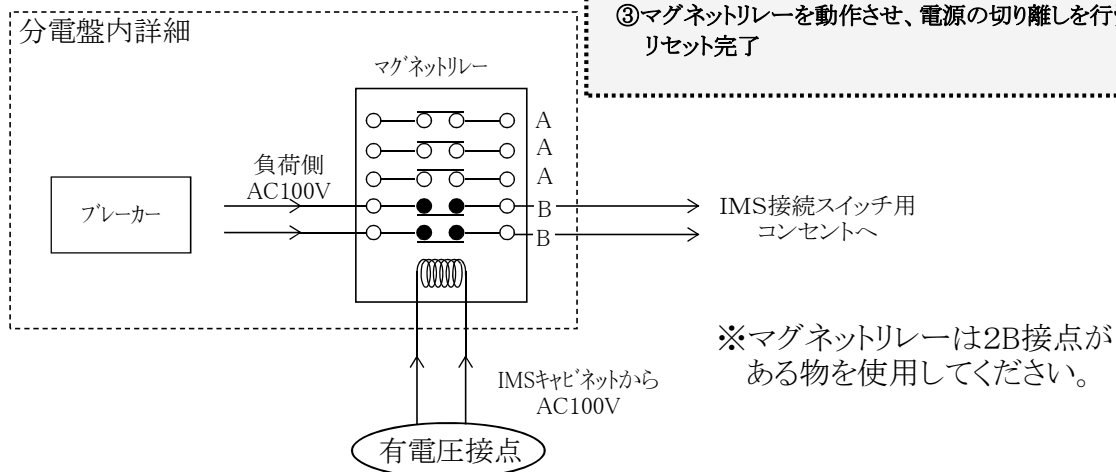
1. 系統略図



リセット方法

- ①管理センターから電話回線にてIMSキャビネットに接続
- ②IMSキャビネットからマグネットリレーにAC100Vを出力
- ③マグネットリレーを動作させ、電源の切り離しを行うことでリセット完了

2. マグネットリレー結線図



※マグネットリレーは2B接点がある物を使用してください。

3. 工事区分

【電気工事】	①IMS接続スイッチ用電源を同一単独回路
	②マグネットリレーの取り付け ※分電盤内に取り付けるため、IMS工事にておこなうのは不可
	③マグネットリレー～MDF間の配管・配線(VA線)・結線
【IMS工事】	①MDF～IMSキャビネット間の配線・結線

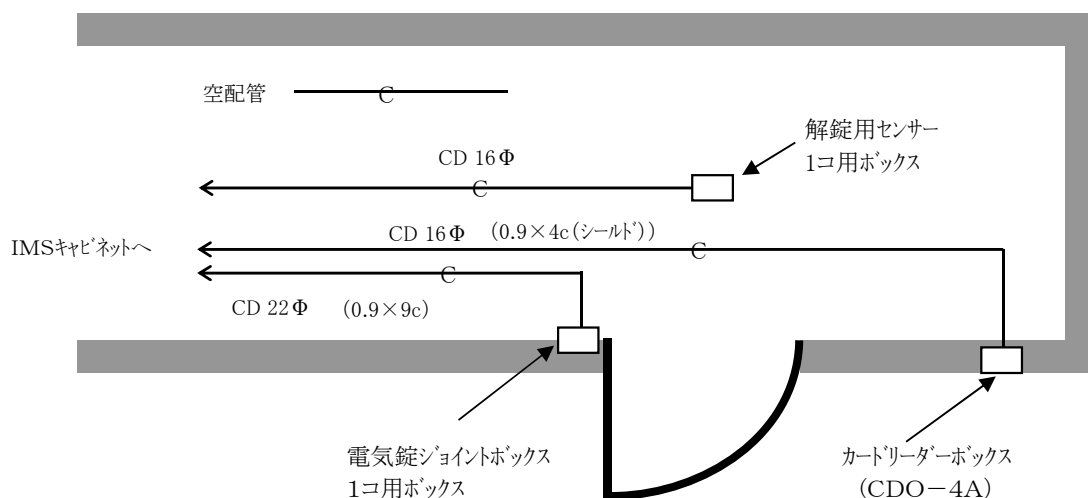
裏口カードリーダー(非接触式)

■ 裏口カードリーダー

自転車置き場等がマンション内の奥側、裏側に配備され、居住者が自転車置き場から玄関エントランスへ廻って入館する距離が遠く不便であると考えられる時に、通用口を設け居住者認証のためにカードリーダー(非接触)を設置します。
但し、避難路以外はセキュリティを考えると入り口をたくさん作るものではありません。

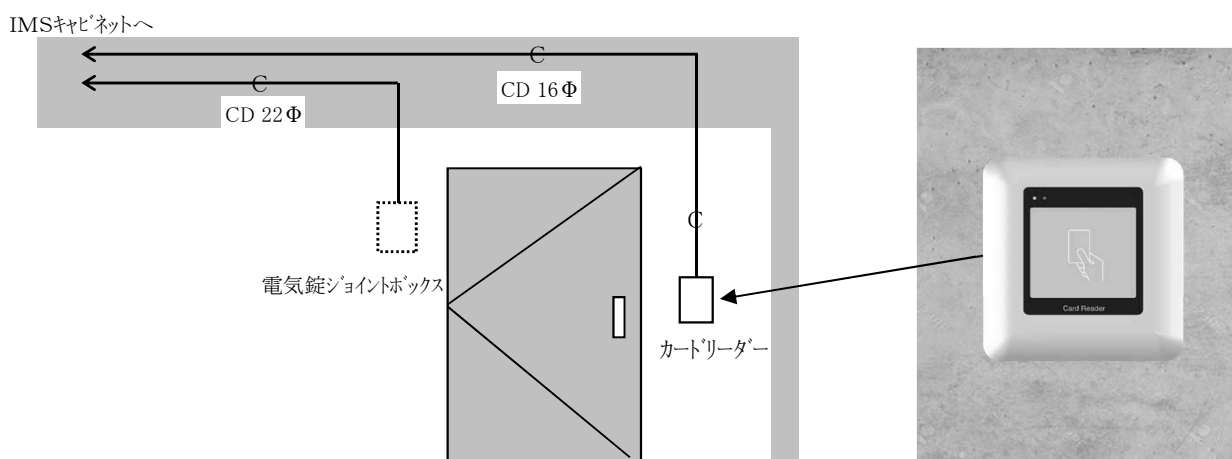
■ 裏口カードリーダーの配管

裏ボックスは、CDO-4A 未来工業(樹脂製) の使用を強く推奨いたします。
使用できない場合はDS37445 松下電工(金属製)の使用をお願い致します。
※裏口ボックスが金属製の場合、カードリーダーの性能が低下する原因となる事がある為、上記樹脂ボックスの使用を推奨しています。



■ 裏口カードリーダーの外観

※完全防水ではない為、直接の雨がかりがないように考慮してください。



カードリーダー寸法

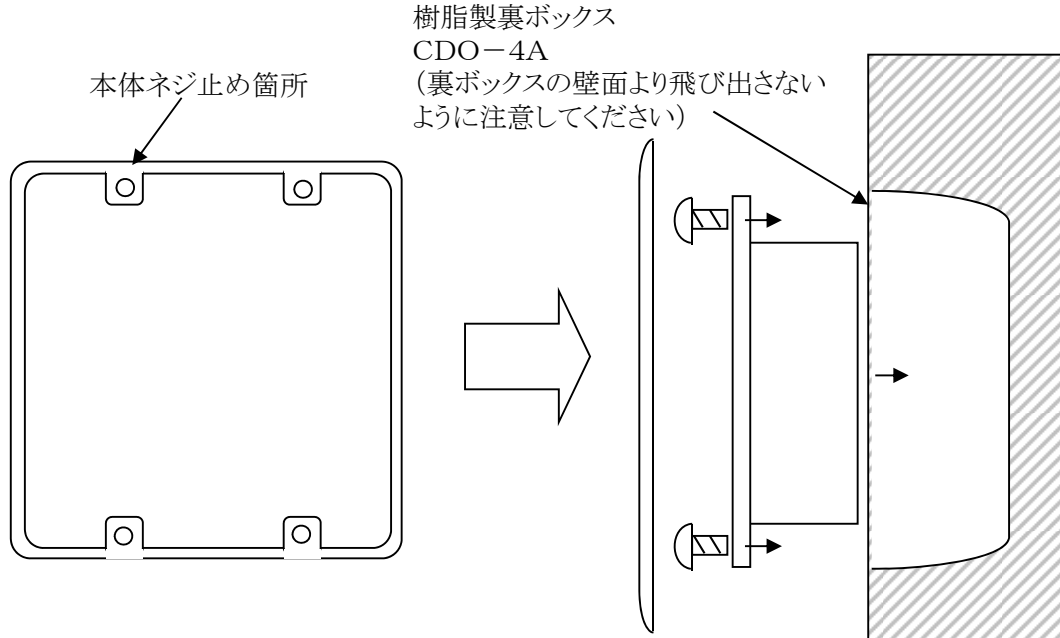
W:122 × H:122 × D:54 (露出部:9 + 埋込部:45)

■ 裏口カードリーダー 施工上の注意点

必ず指定ボックスは、本体ネジ止め箇所が上下に来るように取り付けてください。
 ※カードリーダーの裏ボックスは指定品を取り付けてください！間違えるとやり直し工事です！

開口のお願い

指定のボックスは、下記のように本体ネジ止めする箇所が上下にくるように取り付けてください。



電気錠制御盤

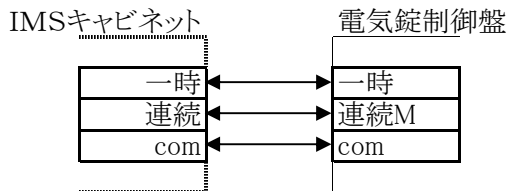
■ 電気錠制御盤の配管

電気錠制御盤へは以下の配管を準備してください。



■ 電気錠制御盤の結線

電気錠制御盤とIMSキャビネットは以下を参考に結線してください。(例:DM-600 TAKEX製)



■ 工事区分

本工事

- 電気錠制御盤の設置工事
- IMSキャビネット～電気錠制御盤間の配管工事
- 電気錠制御盤～電気錠間の配管及び配線工事

IMS工事

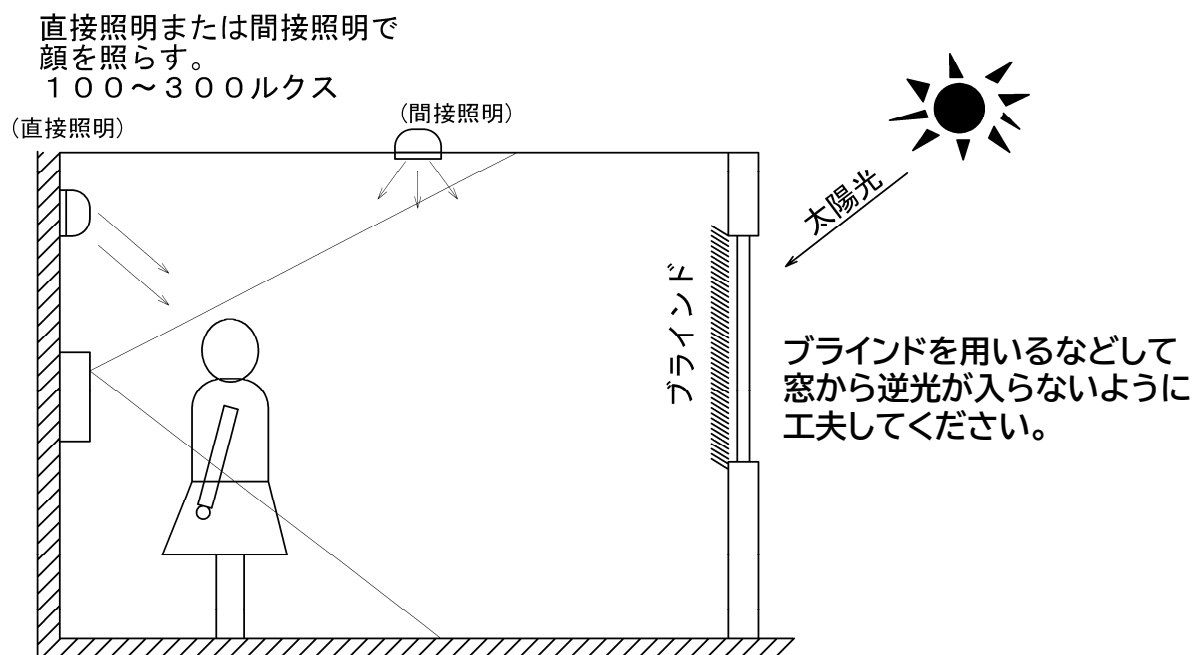
- IMSキャビネットから電気錠制御盤への配線工事
- 電気錠制御盤との結線工事(但し、電気錠制御盤内の配線接続は本工事)

集合玄関機上部の照明について

■ 集合玄関機上部の照明

直接照明、又は間接照明で顔を照らすように照明を設置してください。
照明の明るさは人の顔の位置で100～300ルクスを推奨します。

設置例



■ 注意点

照明の光が直接カメラに入り込まないように注意してください。
カメラの視界に窓、ドアから太陽光や照明器具などの強い光が入らないようにしてください。
100ルクスより暗い場合は画質が低下したりノイズが出たりすることがあります。

■ 照度の目安

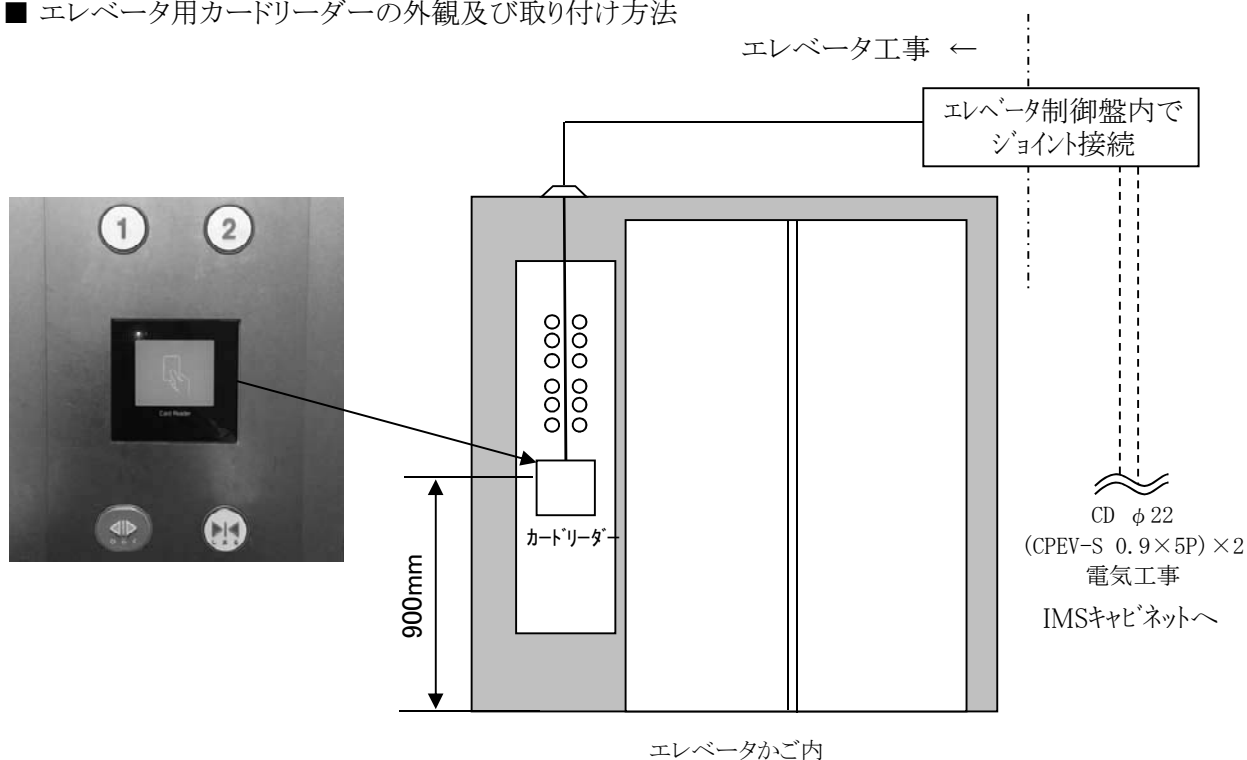
満月 (0.1～0.2ルクス)
映画館上映中の客席 (1～2ルクス)
映画館休憩中 (10～20ルクス)
一般事務室 (100～200ルクス)
60ワットの白熱電球を30センチ離れたところの明るさ (約500ルクス)

エレベータ用カードリーダー(非接触式)

■ エレベータ用カードリーダー

マンション内に設置してあるエレベータにカードリーダーを設けます。各居住者のカード認証を行い、居住階にのみ移動可能です。これにより、セキュリティの強化及び居住者のプライバシーを保護します。

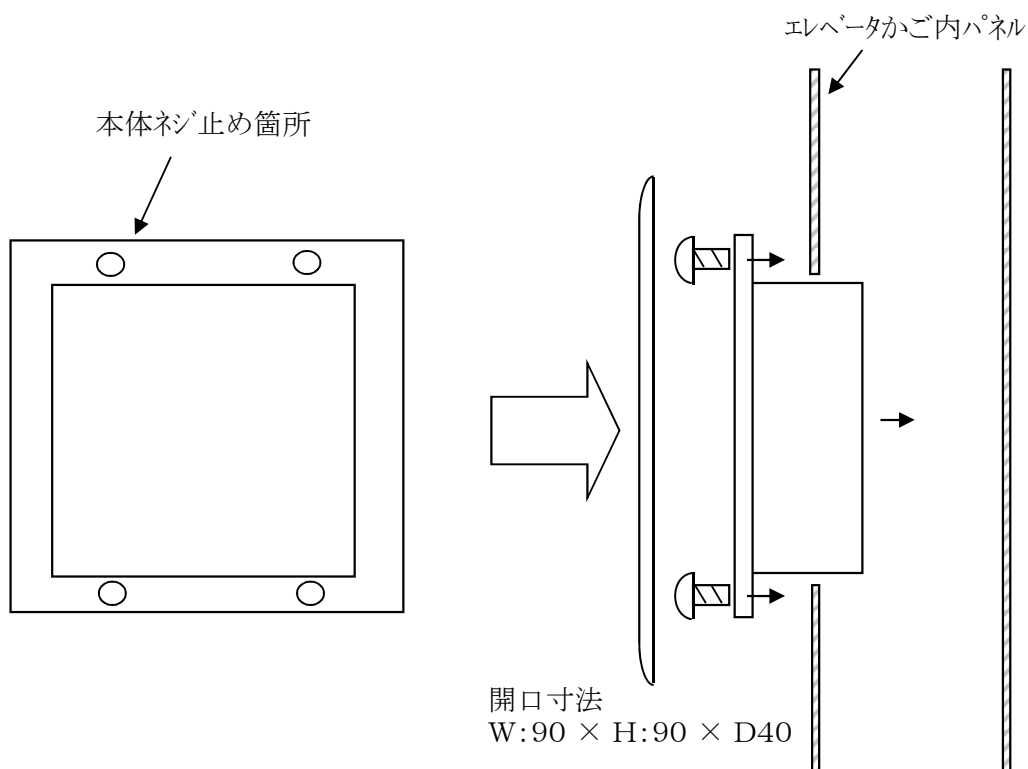
■ エレベータ用カードリーダーの外観及び取り付け方法



※ エレベータ昇降路内の工事は、エレベータ工事で行ってください。

■ 開口のお願い

指定の板金は、下記のように本体ネジ止めする箇所が上下にくるように取り付けてください。



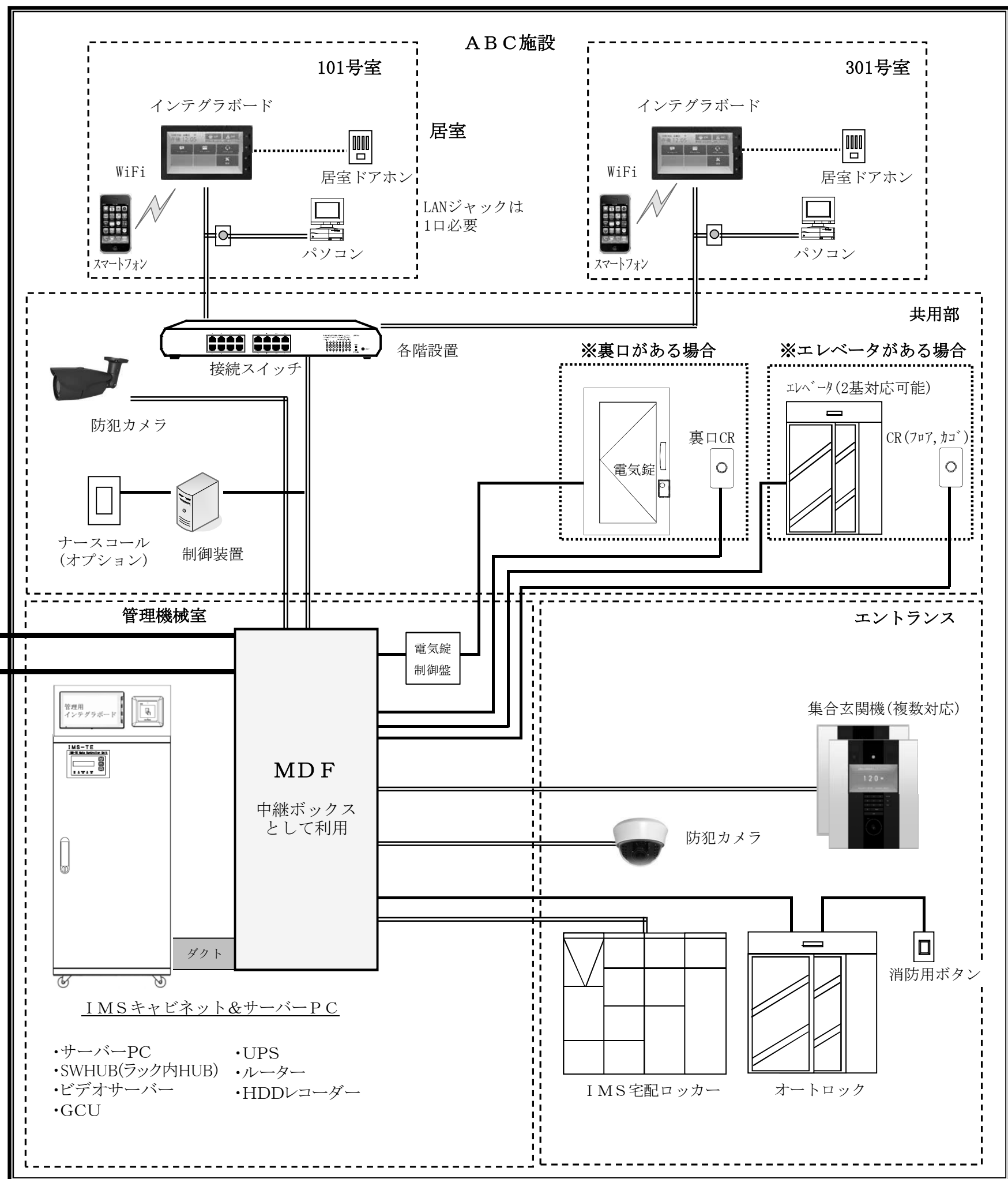
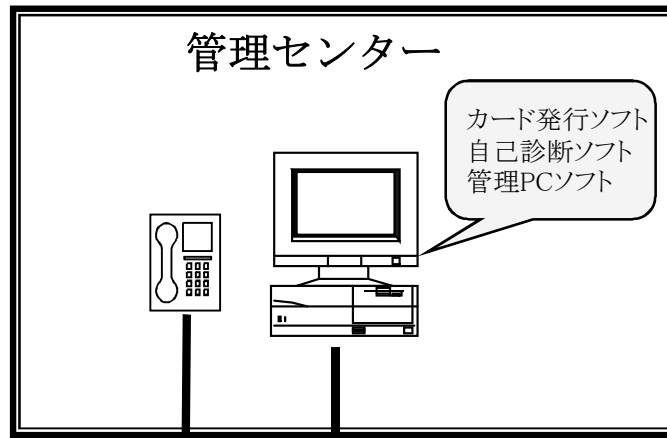
インターネット用光回線引き込み工事の注意点(NTT工事)

■インターネット光回線工事について

弊社にて手配致しますが、下記の点についてご注意願います。

1. MDF盤の取り付け及び建物外からMDFまでの配管の施工を、できるだけ優先して完了して下さいませお願い致します。
※NTTが工事前に現地調査を行いますが、施工が完了していないと工事不可と判断される事があります。
2. 光ケーブル引き込み用の配管(建物外～MDF)が必要です。
※メタル(電話)用×1本、光ケーブル用×1本、+予備
3. MDFにPT盤(光ケーブル用キャビネット)の取付けスペースが必要です。
※PT盤寸法(最大) W:326 H:215 D:63 (mm)
※PT盤の取付け有無はNTTが判断致します。

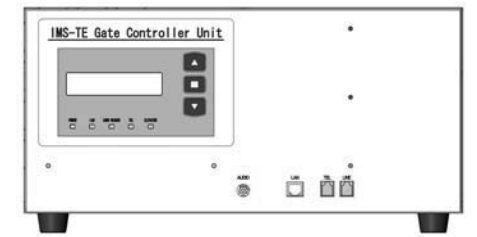
IMS-TE システム構成図



インテグラボード
(カラーモニター付)



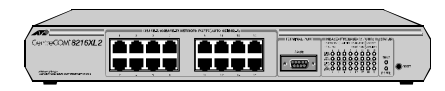
集合玄関機
(カメラ、カラーモニター付)



ゲートコントロールユニット(GCU)



居室ドアホン



接続スイッチ
(IMS仕様 マルチプルVLAN)



防犯カメラ

— NTT工事
— LAN

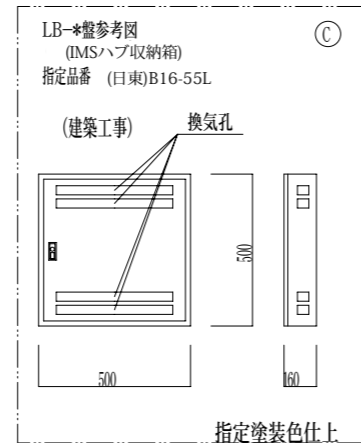
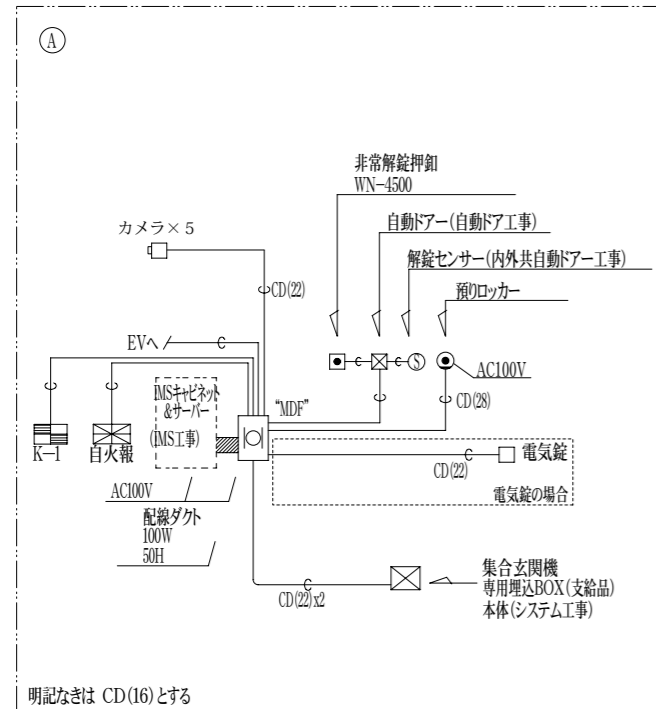
- ・サーバーPC
- ・SWHUB(ラック内HUB)
- ・ビデオサーバー
- ・GCU
- ・UPS
- ・ルーター
- ・HDDレコーダー

IMS-TE SYSTEM 系統図

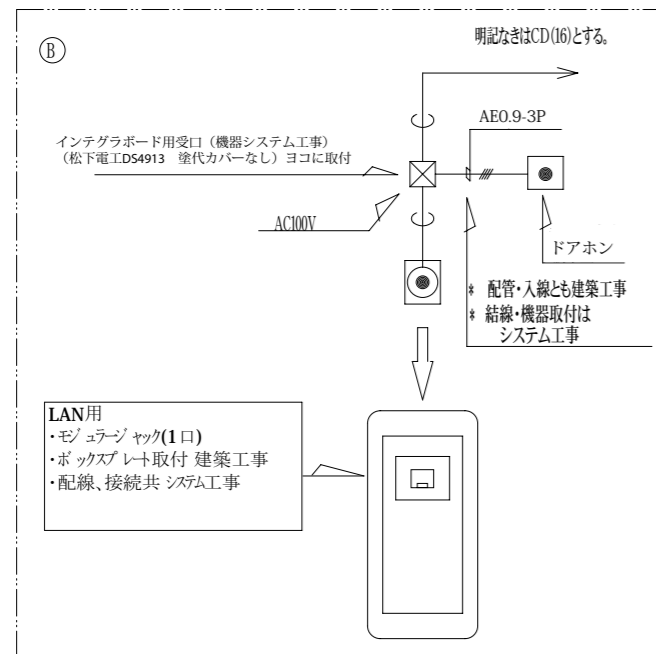
*本図は標準参考図です。(例)10階 54室

工事概要(IMS/LAN配管用工事)

- 1・管理機械室のサーバーラック ~ 各階L-H盤 ~ 住戸間は、原則として全て配管工事とする事。
- 2・露出配管を行うときは、建築管理者と協議を行うと共に、区画貫通部の処理を規定に基づき施工す事。
- 3・各階にスイッチングハブ収納盤を設ける。なお、同ボックスへ出入りする配管の管端には配線保護プッシングを必ず取付けておく事。
- 4・各階での合計戸数が12戸を越える場合は、係員と別途打合せを行う事。
- 5・監視カメラ用配管が必要。(事前に係員と打合せを行い、取付位置を決めておく事、屋外設置の場合AC100V必要)
- 6・廊下等の見えがかり部分に露出配管が生じる場合は、化粧カバー等を取付ける事。(位置、仕上げ色は係員と協議する事)

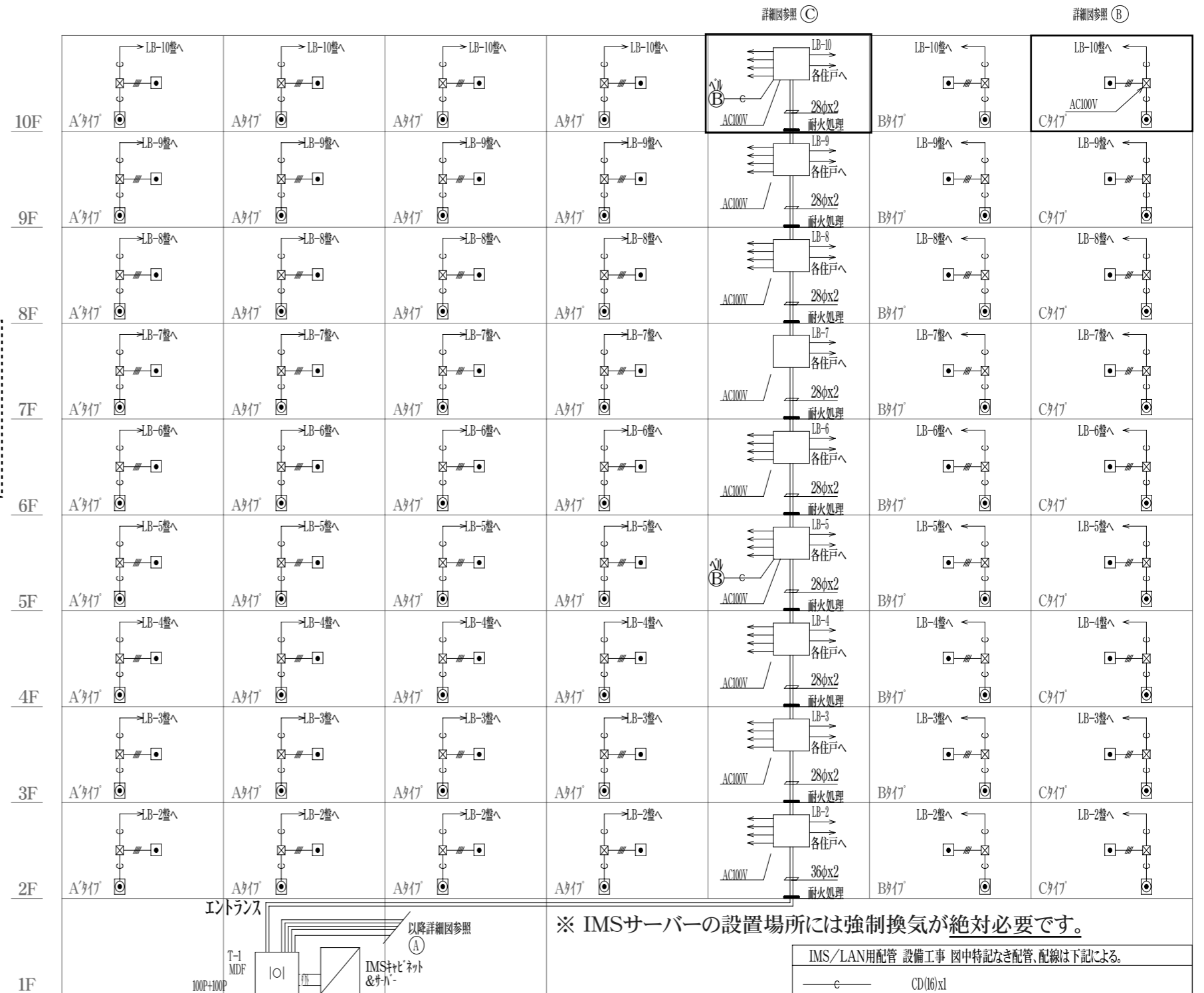


- 工事区分
- IMS配管工事(建築工事)
 - IMSサーバ収納箱取付(建築工事)
 - 露出配管部分の化粧カバー(建築工事)
 - IMSサーバ収納箱に設ける100Vコンセント工事(建築工事)
 - IMSサーバ収納箱から各住戸間配管工事(建築工事)
 - インテグレーションボード裏BOX取付工事(建築工事)
 - インテグレーションボードに100V電源工事(建築工事)
 - 玄関機裏BOX取付工事(建築工事)
 - 玄関機に100V電源工事(建築工事)
 - 預りロッカーに100V電源工事(建築工事)
 - 自動ドアへの内、外モータの設置(建築工事)



注)建築工事は、電気工事と読替えて下さい。

- NTT電話回線配管配線=建築工事 (システム工事に含まれません)
(マンション内の電話の配管・配線・整端は建築工事で行って下さい。
(NTTによる先行設備工事(NTT側費用負担)は行わないで下さい。)



※ IMSサーバの設置場所には強制換気が絶対必要です。

IMS/LAN用配管 設備工事 図中特記なき配管、配線は下記による。

—c— CD(16)x1

主管	担当	製図	工事名	株式会社 シティビルサービス	H . . .	SCALE	1/non
			設計図			IMS用配管 系統図	設計